

特長と利点

Dominion® LX



特長	利点
ハードウェア	
次世代の最新ハードウェアアーキテクチャ	Dominion LX は、特に中小ビジネス(SMB)を対象として、先進的なハードウェア、ソフトウェアアーキテクチャに基づき開発された次世代 KVM スイッチです。革新的な設計で、新しいレベルの KVM-over-IP 性能、信頼性、利便性、互換性およびセキュリティを実現します。
高画質解像度の高パフォーマンス、次世代ビデオハードウェア	Dominion LX の KVM-over-IP エンジンにはラリタンの次世代テクノロジーを使用し、超高速ビデオスクリーンリフレッシュ、1920 x 1080 の高画質リモートビデオ解像度、および高度なカラー補正機能を提供します。
迅速かつ簡単なアプライアンスセットアップ – 「プラグアンドプレイ」の Maus 同期	Dominion LX は安全な Linux® ベースのハードウェアアプライアンスです。認証や Web アクセスを含む Dominion LX のすべての標準機能はユニットの中に実装されており、サーバを追加する必要はありません。
キーボード、マウスおよび USB メディアのための 3 つの USB ポート	Dominion LX には背面に USB 2.0 ポートが 3 つ搭載されており、ローカルキーボード、マウスおよび USB メディアに使用できます。
1U フォームファクタ	Dominion LX は 1U(UST サイズ)の高さで、ラックに極めて効率的にフィットする KVM-over-IP です。
Cat5 ケーブル	Dominion LX は標準的な Cat5(UTP)ケーブルを使用して各サーバと相互接続します。サーバは Dominion LX ユニットから最大 45m の距離まで配置できます。Cat5 ケーブルを使用して各 Dominion LX に最大 8 台または 16 台のサーバを接続できます。
マルチプラットフォームのコンピュータインタフェースモジュール(CIM)	Dominion LX は Dominion CIM、仮想メディア CIM、MCUTP ケーブル CIM およびシリアル CIM をサポートします。Dominion CIM は Dominion LX ユニットから最大 45m の距離まで動作します(サーバの解像度に依存)。
緊急アクセスのためのモデムポート	Dominion LX モデムポートは、データネットワークが使用不能の場合に緊急リモートアクセスのために使用できます。

KVM-over-IP の接続性	
1 人または 2 人の同時リモート IP ユーザ	Dominion LX では、モデルにより 1 人または 2 人の同時リモートユーザによる KVM-over-IP アクセスが可能です。セッション共有では、ブロックなしのローカルポートアクセスができます。
リモートネットワークアクセス – KVM over IP	Dominion LX ではネットワーク (LAN、WAN、インターネット、ダイヤルアップ) のどこからでもアクセスが可能で、管理者はサーバのトラブルシューティング、再構成、リブートさらにサーバの再イメージまでもリモートで実行できます。
完全に独立した Web ブラウザベースのローカルコンソールポート	Dominion LX にはローカル共通の Web ブラウザベースのインタフェースと完全な管理機能がローカルポートで用意され、簡単に学習可能な一貫したユーザエクスペリエンスを提供します。さらに、便利なホットキーによるサーバ切り替え機能がサポートされます。
最大 256 サーバの柔軟な階層化 (カスケード)	お客様は複数の Dominion LX スイッチを接続 (階層化) でき、アタッチされたサーバをデータセンタでアクセスしたり、リモート PC からアクセスしたりできます。最大 256 台のサーバが統合ポートリストまたはサーチ機能 (ワイルドカードによる) を使用してアクセスできます。
アジア言語のサポート – 日本語、簡体字中国語/繁体字中国語	Dominion LX のリモート HTML ユーザインタフェースと KVM クライアントは、日本語、簡体字中国語および繁体字中国語をサポートします。
デュアルスタック IP ネットワーキング – IPv4 および IPv6	Dominion LX はデュアルスタック IP ネットワーキングを提供し、IPv4 と IPv6 を同時にサポートします。
仮想メディア	Dominion LX はすべてのモデルで仮想メディアのメリットが得られます。ターゲットサーバにリモートドライブ/メディアをマウントしてソフトウェアのインストール、リモートブートおよび診断などがサポートされています。
KVM クライアントアクセスと制御	
次世代の共通ユーザインタフェース	Dominion LX には次世代の Web ブラウザベースのユーザインタフェースが用意されており、ローカルポート、リモートアクセス、管理ソフトウェアおよび他のラリタン製品を通じインタフェースが共通化されています。このため、利便性、生産性が向上します。
マルチプラットフォームのサポート	ラリタンの Windows® および Java™ ベースの KVM クライアントは、Windows、Linux、Sun®/Solaris™ および Macintosh® デスクトップといったマルチプラットフォームへのアクセスと制御を提供します。
Ethernet 経由のファームウェアアップグレード	Dominion LX のファームウェアアップグレードはラリタン Web サイトから直接ダウンロード可能で、ネットワーク経由でアップグレードが実行できます。スイッチに接続された Dominion LX D2CIM もアップグレードされます。

リモートビデオ	
柔軟なビデオスケーリングが可能なフルスクリーンビデオ表示	Dominion LX のフルスクリーンビデオ表示を使用すると、ウィンドウの境界線やツールバーがないため、ターゲットサーバに直接接続されているように見えます。「ポップアップ」メニューバーを使用すると、フルスクリーンモードで KVM クライアント機能を実行できます。Dominion LX の柔軟なスケーリング機能を使用すると、固定サイズのウィンドウに限定されることなく、ウィンドウの境界線をドラッグして、小さなサムネイル表示も含み、自由にサイズを変更できます
ポートスキャンニングとサムネイル表示	選択されたサーバをスライドショーとして、また、リアルタイムのサムネイル表示として閲覧できます。ユーザはサーバのリストが選択でき、スキャン間隔を設定し、そして一定のサーバに迅速にアクセスできます。この機能はリモートでもローカルでも実行できます。
高速なビデオ切り替え	Dominion LX の高度なビデオ解像度検出機能がターゲットサーバのビデオ特性を検出すると、サーバへの接続はほとんど瞬時に行われます。この機能により、Dominion LX ユーザはほとんどの場合、接続されたすべてのサーバに素早くアクセスできます。
マウスおよびキーボード	
「ずれないマウス」機能 (Absolute Mouse Synchronization™)	ずれないマウス機能は、マウス同期化の究極のソリューションです。互換性を持った USB マウスポートのある Windows や Mac®サーバに対しては、ターゲットサーバのマウス設定を調整する必要はありません(プラグアンドプレイ)。この機能によりインストール時間は短縮され、リモートとターゲットサーバのマウスポインタは同期ずれを起こしません。この機能は、D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB 仮想メディア CIM により有効化されます。
インテリジェントマウス同期機能 (Intelligent Mouse Synchronization™)	ほとんどの KVM スイッチでは、各 KVM ユーザ向けに接続されたすべてのターゲットサーバに対して、マウス動作やマウス加速度の設定を調整する手間が必要です。インテリジェントマウス同期オプションを使用すると、多くのサーバに対する設定の手間は不要になります。システムが自動的にサーバのマウス設定に同期し、マウスのプラグアンドプレイの操作性を向上させます。
透過的なキーボードハンドリング	透過的なキーボードハンドリングとは、事実上すべてのキーストロークがターゲットサーバに送られデスクトップクライアントでは処理されないことを意味します。このキーボード機能によりほとんどのキーボードマクロが不要になり、高いレベルの接続性でターゲットサーバと直接対話できます。
セキュリティ機能	
AES 暗号化	Dominion LX はセキュリティを強化するため AES (Advanced Encryption Standard) 暗号化技術を採用しています。128 ビットおよび 256 ビット AES 暗号化機能が使用できます。 AES は米国政府が承認した暗号化アルゴリズムで、国立標準技術研究所 (NIST) が FIPS 標準 197 で推奨しています。

Dominion LX - Features and Benefits

ビデオ、仮想メディアの暗号化	Dominion LX はセキュリティ確保のため、ビデオストリーム、キーボード/マウスデータ、仮想メディア通信を暗号化しています。
ローカルおよびリモート認証	Dominion LX は、Microsoft® Active Directory®のような業界標準のディレクトリサーバと統合でき、LDAP または RADIUS いずれかのプロトコルを使用しています。これにより、Dominion LX は予め存在するユーザ名/パスワードのデータベースを使用することができセキュリティが確保されます。
設定可能で強力なパスワードチェック	Dominion LX には管理者が設定可能な強力なパスワードチェック機能が用意され、ユーザが作成したパスワードが会社/政府の基準に準拠し、悪質なハッキングに確実に對抗できます。
ユーザ、グループ、権限付与によるローカル認証	外部的な認証に加え、Dominion LX はローカル認証をサポートします。管理者は、カスタマイズ可能な管理機能やポートのアクセス権限を付与したユーザとグループを定義できます。
複数のセキュリティ機能	Dominion LX にはこの他に多数のセキュリティ機能が用意されています。パスワードのエージング管理、無応答タイム、グループの権限、ポートごとの許可などが含まれます。